

藤枝市民大学が「グッドデザイン賞 2024」を受賞

(藤枝市企画創生部、教育部)

1 目的・趣旨

藤枝市民大学の創立主旨を広く発信するとともに、大学の価値とブランド力を高めるため、世界的権威のある総合デザインの評価運動である「グッドデザイン賞」に応募し、二段階審査の結果、5千件を超える応募の中から受賞が決定した。

2 グッドデザイン賞について

(1) 概要

昭和32年に旧通商産業省が設立した「グッドデザイン商品選定制度」を継承する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みで、「Gマーク」で知られる。複雑化する社会の中でデザインによって課題を解決し、暮らしや社会をより良くしていく活動。



(2) 主催 公益財団法人日本デザイン振興会

(3) 後援 経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、日本貿易振興機構
日本経済新聞社、NHK 外

3 応募概要

(1) 名称 藤枝市民大学

(2) 創業者 藤枝市長 北村正平

(3) デザインのポイント

人口減少に伴い社会の担い手が減少する中、“生涯現役・生涯活躍のまち”“いつからでも学び、チャレンジできるまち”を創り、幅広い学びを提供して自己実現への挑戦を後押しし、地域社会・経済を担う人材を自ら生み出す。我が国初の「地域大学」を確立する、持続可能な社会づくりの新たなモデルデザイン。

4 受賞概要

(1) 審査委員の評価

異なる動機を持ちながらも、学びに関心を持つ市民が会う場を生み出すことは、地域にとって非常に価値のあること。さらに、このプロジェクトの優れた点は、そこで留まることなく、講義後のビジネス交流の機会を設けたり、「学習歴のデジタル証明」を活用するなど、“いつからでも学び、チャレンジできるまち”というコンセプトを具現化するためのプログラムを充実させているところである。

定員を大きく上回る受講希望者が現れ、起業家が生まれるなど、実際に成果が出ていることも、この活動に込められた思いが実を結んでいる証拠。学びの場を提供する公共の機会は多くあるが、学びの起点とその継続に着目したこのプロジェクトは、他地域にとっても非常に参考になる事例である。

(2) スケジュール

10月16日 受賞者発表 (13:30)

11月1日～ グッドデザイン賞受賞展 (会場：東京ミッドタウン) ※5日まで

11月5日 受賞祝賀会 (会場：東京ガーデンシアター)

○藤枝市民大学とは

1 概要

“いつからでも学び、チャレンジできるまち”に向け、幅広い学びを提供し、地域社会・地域経済を担う「人づくり」を進める、藤枝市が設置する地域大学。令和4年度に開学し、令和5年度より通年化により本格展開した。

令和6年度は3コース6講座で全56講座を展開し、16歳から89歳までの約500人の市民、地域住民が学ぶ。

「学び・出会い・成長」をテーマに、多彩な学びを提供するとともに、学生相互の勉強会などの交流の場の創出、そして生涯に亘り習得したスキルを証明する「学習歴のデジタル証明（オープンバッジ）」や、資格取得者への「合格報奨金」の贈呈など、その後のチャレンジを支援し、学びの実効性を確立する。

2 カリキュラム

○一般教養コース：一般教養講座（10講座）、地域学講座（9講座）

社会情勢や歴史、文化、健康、科学など社会生活における基礎知識、また郷土・藤枝を様々な角度から学ぶ

○リカレント教育（学び直し）コース：基礎講座（9講座）、専門講座（7講座）

会計や人材活用をはじめ、AI等のデジタル活用やマーケティングなど、今のビジネスに必要な知識を幅広く学ぶ

○資格取得・リスキリングコース：

資格取得講座（7講座）、リスキリング講座（14講座）

スキルアップやキャリアアップ、また起業や再就職などに向け、実践的に活用できる技術や資格の習得を目指して学ぶ